

起こりやすい事故と対応

誤飲

吐かせて良い

たばこ・化粧水・防虫剤：ナフタリンや樟脳（しょうのう）等

吐かせてはいけない

意識がないとき・吐いたものに血液が混じていたとき

とがったもの・揮発性のある化粧品（マニキュアや除光液など）

石油製品：灯油やガソリンなど

強酸性強アルカリ性のもの：トイレ用の洗浄剤や漂白剤など

・飲んだものの残りや容器、箱を持って受診します『いつ』『何を』、『どのくらい』食べた（飲んだ）か、を伝えます

処置や受診に迷う時は

中毒 110 番 (財) 日本中毒情報センター

大阪 : 072-727-2499 (24 時間 365 日)

つくば : 029-852-9999 (9 時~21 時 365 日)

たばこ : 072-726-9922 (24 時間 365 日)

窒息

顔色が悪い、ゼーゼーして苦しそう、意識がない時は、大声で協力者を呼んで **119 番に通報**し、直ちに、以下の方法で**異物を取り除きます**

<方法1>

小児の場合

後ろから両腕を回して抱え、子どものみぞおちで握り拳を作り、それをもう片方の手で握り、すばやく手前上方に圧迫するように突き上げる



<方法2>

乳幼児の場合

救助者の片腕に、子どもをうつぶせに、頭が下がるように乗せて、手で顔を支え、もう一方の手の付け根で、背中の中を何度も連続して強く叩く

小児の場合

救助者が片足をたて膝にした太ももに、子どものみぞおちが圧迫されるようにうつぶせにして頭を下げ、背中の中を何度も連続して強く叩く



やけど

応急処置

初期対応が傷の治りに影響します

• 救急車を呼ぶとき

- 広範囲のやけど（大人の手のひら2つ分でショックをおこす）
- 顔（表面はたいしたことがなくても、内部がひどいことがある）
- 手や足の指（皮膚がくっついてしまうことがある）
- 性器のやけど
- 水泡ができたやけど（水泡がつぶれ、感染をおこすことがある）

• 流水で5分以上冷やす

- 衣類の上から熱湯を被った場合は水泡をつぶしてしまうことがあるので、無理に脱がさず、衣類の上から流水をかける

• 流水をあてられない場合

- アイスノンや冷やしたタオルを何回もかえて冷やす

• 全身に熱湯を被った場合

- 救急車が来るまで、濡れたバスタオルにくるみ、その上からタオルケット等で保温する

転落

• 救急車を呼ぶとき

- 意識がはっきりしない
- 吐く
- けいれんする
- ひどく出血している

どのくらいの高さから、どの様なところに落ちたのか説明します

• 受診をするとき

- 痛みを訴える場合
衣服をゆるめて、意識状態や腫れ、出血の様子を観察する
- 腕や足などに痛みを伴う腫れがある場合
その部位をできるだけ動かさずに安静を保つ
- 出血している場合
傷口（✕）を洗ってからガーゼ等で押さえる
傷口より心臓に近い所（●ひじの内側や太ももの付け根等）を圧迫して止血する

